

樹 好 び よ り



松江城 (Wikipediaより)

No.168
2018.10

慈 悲 喜 捨

島根県の松江城は、千鳥が羽根を広げたように見えるので「千鳥城」と呼ばれています。天守閣は築城当時から残っている「現存天守閣」として国宝に指定され、そこからは松江の街並みが一望できます。お堀を小舟で一周する「堀川めぐり」では、武家屋敷などの風情ある町並みを見ることができま。また、城山公園は、「さくら」や「景観」の全国名所百選に選ばれ、四季折々の自然が楽しめます。お城の南東には宍道湖（しんじこ）があり、夕日が湖水を赤く染める光景は、見る人に感動を与えてくれます。

松江城周辺は、湿地帯だったということですが、この土地を開拓した島根県の人々の根気強さには、感服します。そして、このような繊細さと遊び心のあるところにいると、心が癒されます。繊細さや遊び心は、人だとえれば「心のゆとり」であると思います。私たちが、生い立ちや生活環境、交友関係など、様々な要因によって、物事のとらえ方や考え方が違ってきます。また、自らの考えや感情の変化に気づかなかつたり、コントロールすることが困

難な時もあります。その結果、相手と衝突したり、自分の気持ちを伝えられなかったという経験を持つ人は、多いのではないのでしょうか。自分を正しく理解し、よい方向へと進んでいくことが簡単ではないのですから、他の人を理解することは、さらに難しいことです。しかし、「心にゆとり」があれば、お互いの考え方や気持ちの違いを認めることができ、違いを感じても、それに固執することは少なくなくなります。そして、相手の立場で物事を考えるようにすると、次第に親しみの情が心に宿るようになります。そのような変化は、自然に相手へと伝わり、お互いが上手く関わっていく道筋へとつながります。このようなことを積み重ねていくことが、心の豊かな人間へと成長していくことであるように思います。

生徒の皆が持っている、たくさんの可能性を将来につなげるには、自分に良い影響を与えてくれる人との出会いを大切にする必要があります。出会いと結びつきを大切に、心にゆとりを持って接していきましょう。

古跡を訪ね、力強さや繊細さ、遊び心にふれて、心のゆとりの大切さをあらためて感じました。

樹徳の芸術の秋

明照学園理事長
野口 秀樹



つくわけではありません。学科試験、出席状況、人柄など、企業も懸命に、自分の組織に相応しい人を探しています。これに負けずに頑張つて欲しいですね。

また十月は全校挙げて月影祭の準備に当たります。保護者の皆様にもご協力をお願いいたします。

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、色々あります。が、芸術の秋についてお話しします。

今年には本当に自然災害が多い年です。大阪地震、西日本豪雨、台風十二号、二十一号そして北海道胆振東部地震、該当地域の皆様には大変お気の毒で、つらい思いをされていることだと思えます。先ずはお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りします。また一日でも早い復旧をお祈りいたします。

二学期が始まりひと月が経過しました。三年生達は進路に向けて本格的に動き出したのです。特に就職関係におきましては、九月十六日より選考開始、入社試験が始まりました。お陰様で求人は今年も多いのですが、それが必ずしも合格に結び

あります。大好評で終了しました。相田さんの作品は、校内の至る所に飾られておりますので、学校へお越し下さった時に、是非ご覧になって下さい。きつと大きな作品に驚かれることでしょう。

正道館の八階に、桐生市が一望できる、学習室がございます。その奥に「美の部屋」というものがあります。普段は閉まっておりませんが、時期が来ますとオープンいたします。ほんの少し美術品が飾られています。「美の部屋」の名前は大仰ですが、生徒達に豊かな人間性を身につける刺激になればと、情操教育の一環で設置されました。

最近では、絵画や書などを目にする機会は増えておりますが、三十年前は、まだ地方都市では機会が少なかったものであります。できれば本物を見せたいですね。

テレビ鑑定団の世界になっては困るのですが、明治時代の啓蒙思想家、慶応義塾創設者、福沢諭吉先生の書「独立自尊是修身之法」などが常設されております。

明治・大正期の文人画家、儒学者、日本最後の文人と謳われる富岡鉄斎さんの大作が何点かあります。明治初期の作品で、迫力と気品があります。これも常設されております。

レプリカやリトグラフなども含め、洋画も何点か所蔵しております。

この度、富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館において、郷土の洋画家、福沢一郎（一八九八〜一九九二）生誕百二十周年展を行います。そこで企画された特別展で、県民や企業が所蔵している福沢一郎展も、実施することになりました。その情報を新聞でキャッチした私は、美の部屋で所蔵しております作品を二点出品いたしました。『花』一号サイズ、独特の花瓶に赤いバラが四輪、彼が沢山書いた花の絵画に属します。もう一点は『浅間山鬼押し出し』八号、こちらは風景画、私が美術館にこの作品を搬

入したときに、館長と学芸員の方が絶賛してくれました。私には、よくは分かりませんが良い作品の様です。皆様にご覧になって頂きたいのです。

この特別展は、九月十五日から十一月十一日まで。福沢一郎美術館で所蔵している大作は勿論ですが、普段、目にできない個人所蔵の作品も、八十九点も展示されるそうです。

芸術の秋、大きな美術館で『花』『浅間山鬼の押し出し』をご鑑賞下さい。

合掌



好きなこと

本校に着任して約半年ですが、生徒とコミュニケーションを図る中で感じていることがあります。部活動に所属している生徒があまり多くないということですが、中学校、高校、大学と計十年間、部活動に所属して学校生活を過ごしてきた私にとって、部活動のない学校生活は想像ができません。ですが、部活動に所属していない生徒と話をすることで、新鮮さを感じることもあります。私が部活動について感じたことを、私のエピソードと共に書いてみます。

私は小学二年から野球を始め、中学校、高校と野球に打ち込みました。また、中学生の頃から、教員になりたいという気持ちがあったので、卒業後の進路は大学進学を希望していました。野球を利用した入試で

今日の法語

情熱も元氣も伝染する

の進学を考えていました。最後の夏の大会で思うようにいかず、自信を失いました。人生初めての挫折でした。そこで私は、一般入試での進学に切り替えました。しかし、大きな問題がありました。「学力が足りない。」九月から死に物狂いで勉強しましたが、到底、第一志望の国立大学には届きませんでした。短期間でしたが一生懸命自分なりに勉強した分、悔しかった。そして私は第二志望の大学に進学し、初めての一人暮らしを始めました。そのときの私は、新しい生活への不安と、好きだった野球を失った喪失感でいっぱいでした。

初めて大学に登校した日、突然知らない人に声をかけられました。大学の野球部のキャプテンでした。「肌黒いね、野球やってたでしょ。」いきなりなんだよ、と思いつつも、これが大学なのかなと思いまし

た。「一緒に全国制覇目指して野球やろうぜ。」と言われ、本気なのか、と疑問を抱きながらも「なんだか面白そう。」とも感じました。それを機に、全国制覇を目標に再び野球をやることに決めました。

大学二年の夏、苦しみながら、その目標を達成することができました。優勝したときには、今まで味わったことのないような喜びを感じたのを、今でも覚えています。キャプテンにあの時、声をかけられなかったら、これほどにすばらしい経験をするとはなかったでしょう。

この間、部活動に打ち込みながらも、教員になるために、英語の勉強にも取り組みました。入学当初は、周りの英語のレベルに圧倒され、何も理解できずにただ席に座っていました。「なんとかなる」とも思っていました。短期留学を機にその気持ちが変わりました。見知らぬイギリスの土地に放り出され、見知らぬ人たちと生活をしなければならぬ。その状況になったとき、自分の力不足を痛感しました。帰国後、これ

までにならない焦りを感じながら、勉強をしました。部活動以外にアルバイトもしていたため、多くの時間を確保することはできなかった。そこで、空き時間を利用したり、友達からの誘いを断ったりしながらも勉強しました。

ここまでの経験で私が感じたことは、好きだった部活動の存在が、折れかけていた自分の心を支えてくれた、ということ。好きだった野球に再度、打ち込む過程で、得意ではなかった英語の勉強にも打ち込むことができました。また、やればやるほど英語の勉強も好きになり、好きなことが一つ増えました。部活動

に全力で取り組んだことが、野球だけでなく、英語の勉強や人間関係など、様々なことを良い方向に導いてくれました。

在校生の皆さんにも、ぜひ、好きなことに全力で挑戦して欲しいと思うのです。それが部活動である必要はないし、遠慮や躊躇をする必要ありません。時には、挑戦することを怖いと感じることもあるでしょう。しかし、その殻を破れたときに、一歩前進できるでしょう。かけがえのない仲間、様々なスキル、何が得られるかはやってみなければわかりませんが、必ず成長できるはずですよ。

(英語科 中島弘貴)



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティセンター 「み法」

10月の行事予定

- (1) ラタンアート工房「桐生籐工芸」
主催 野村ナナ子さん
4, 18日(木)
- (2) 販売実習 20, 21日(土, 日)
 - ①「相田みつを美術館」取扱い商品
 - ②「星野富弘美術館」取扱い商品

一日体験入学 本校代表生徒の発表

平成三十年九月十五日(土)。この日、夏休みに行われた第一回中学生一日体験入学に続き、第二回目が実施されました。そこで、本校代表生徒の発表についてご紹介致します。*一部抜粋

中学生の皆さん、おはようございます。

私は、樹徳高校二年の伊藤藤涼です。同じく二年の久保田有海です。樹徳高校一日体験入学へようこそ！在校生一同、心から歓迎いたします。

さて、これからは樹徳高校の特長や魅力、学校での生活を紹介します。

私たちの一日は「信条」の唱和から始まります。「和を以て貴しと為す」という言葉ではじまりますが、これは聖徳太子の十七条の憲法を基にしています。ここでは「何をすることも皆仲良く、争いを起こさずに行いなさい」という教えが語られています。私自身も約一年半、毎日唱和しているうちに、クラスでも部活動でも友達との「和」を大切にできるようになってきました。

また、一日の終わりには「六省」を唱え、日々を顧みます。

授業は一時限が四十五分で、一日六時間のコースと

七時間のコースがあります。大学進学を目指している人はこれに八時間目があります。

進学コースでは、学力向上を目指して課外授業や特別授業が実施され、総合コースでは、二年次から、各自の目標進路に応じたコース選択によって、効果的な学習が進められます。

結果として本校は、これまでに、東京大学を筆頭にした難関国立大学に多くの合格者を出していることに加え、早稲田大学・慶応大学などの名門私立大学にも、毎年、複数の合格者を出しています。今年も、東北大学薬学部・防衛医科大学校の医学科などに合格しました。

このように、樹徳は、進学校としての評価を確固たるものにしていくだけでなく、就職内定率も100%を継続中です。なぜこんなにいい結果が出るのか。僕が思うにそれは先生方に気軽に質問できるからではないかと思えます。わからない

ところはわかるまで教えてもらえるし、いろいろな相談もできます。学習室も完備しているので、利用する生徒も多くいます。

次は部活動について紹介します。樹徳では、今年も、卓球部・陸上部・相撲部・少林寺拳法部・ダンス部が群馬県代表として全国大会に出場しました。中でも、

卓球と相撲は常に県内トップクラスの地位を堅持し、少林寺拳法部は、全国優勝の経験を持っています。

文化部では、インターアクトクラブの歳末助け合い募金で多くの浄財を集め、市内の施設に寄付し地域に貢献しています。理科部も全国規模の研究発表会で何度も上位入賞を果たし、その研究成果には大学や企業も注目しています。吹奏楽部はマーチングステージ全国大会で優秀賞を獲得しました。

また、今年度より共生図書館とコンビニが新たにオープンしました。共生図書館は稲荷町校舎にありま

す。イトインスペースもある、本当にすてきな図書館です。一方、デイリーヤマザキの樹徳高校店ではお弁当やサンドイッチだけでなく、お菓子や飲み物もあつて、とても便利です。さて、ここで私たちの受験体験をお話ししたいと思います。久保田さんからどうぞ。

はい。実は私は公立高校の受験に失敗してしまい、併願で受験した本校に入学しました。入学当初は失敗した挫折感でいっぱいでしたが、この高校で何を頑張ればいいのかと悩まれました。けれども学校生活が進むうちに自然に勉強に対する意欲が生まれ、部活動にも入り、いつの間にか楽しく過ごせるようになりました。

はじめに紹介した「信条」の一節に「奉仕こそ人生の喜びであること」を十分に体験し、という行(くだり)があ

りませんが、毎日唱和しているうちに、何か一つでも自分のためではなく、他の人の為に役立つようなことができたと思うようになりました。

伊藤君はどうですか。

僕はちょうど2年前、樹徳の体験入学に参加したんです。それで樹徳がいいなと思って、単願で受験しました。入学当初は不安もありましたが、環境は文句なしで、友達もたくさんでき、先生たちとも気軽にいろいろなことを話したりして、とても満足しています。

私たちの樹徳に入学してくることを、心から願っています。



2J2久保田さん

2K2伊藤くん

平成30年度 樹徳中学・高等学校

月影祭

開催期日

11月3日(土)

11月4日(日)

- ・生徒作品・研究発表
- ・慈善バザー
- ・販売実習
- ・中学生作品コンクール
- 家庭・絵画・書道の部
- ・テーマ館

白色白光

～笑顔輝く場所がある～

作画：2年J2組 安菜々美さん、テーマ：2年S2組 大滝里紗子さん

一貫校

中学校

だより

人権教育講演会から

絵本作家

やなせ たかし さんが 伝えたかったこと

八月二十九日(木)、桐生市人権擁護委員の本間光雄さんをお招きし、人権教育講演会が開催されました。アンパンマンの作者であるやなせ たかしさんのエピソードや、全国中学生人権作文入選作品アニメ「共に生きるということ」の視聴等を交えながら、人権を尊重することの大切さ、他と共生して生きることの大切さについて、わかりやすくお話をいただきました。

講演の中で紹介されたやなせさんは、人気アニメ「アンパンマン」の作者としてよく知られています。法務省が人権啓発のために使用している人クイズにももるくん、人クイズあゆみちゃん、キャラクターも、やなせさんが考えたものです。十数年前、特別支援教育関係のイベントで、やなせさんの講演を聞く機会がありましたが、「正義って相手を

たおすことじゃないんですよ。困っている人を助けることなんですよ。」という言葉から、アンパンマンという作品に込められたやなせさんの深い思いを感じる事ができました。戦争でご家族を失い、飢え、苦難の人生を歩んできたやなせさんだからこそ伝えられる、人としての生き方、世界観があったように思います。子どもの頃、よく歌った「手のひらを太陽に」もやなせさんの作詞ですが、「みんなみんな生きています。みんなみんな生きています。みんなみんな生きています。」というフレーズからも、やなせさんが伝えたかったメッセージを感じることが出来ます。



東日本大震災時には、被害を受けた人々に、と励ましのメッセージ(当時九十歳)を送ったそうです。私の故郷宮城県では、アンパンマンマーチややなせさんの言葉が、親を亡くした子どもたちに勇気と希望を与えているという報道もありました。

人権とは、一人ひとりが生まれながらに持っている権利、誰もが幸せに生きる権利です。相手を尊重する心、大切にされる心があれば、礼儀や言葉遣い、そして、ふるまいも、自然に正しく丁寧になります。礼儀の正しさや丁寧な言葉遣い、ルールやマナーを尊重することは、人権意識のあらわれです。子どもたちには、本講演会を機に、一人ひとりが心の再点検をし、やなせさんが伝えたかった人権尊重の心、共生の心をいろいろな場面で行動にあらわして欲しいと願っています。

桐生市

英語弁論大会

九月七日(木) 桐生市中学校英語弁論大会が行われました。樹徳中学校からは校内大会で選ばれた代表と

副校長 澁谷 和郎

して、中学三年生の関田真愛さん、問中董さんが出場しました。堂々とした発表ができて、結果、海外在住経験者の部で関田さんが第一位に輝き、群馬県大会に出場することが決まりました。群馬県大会でも自分の力を充分に発揮してほしいです。



◆GTEC
八月三十日(木)、三十一日(金) 樹徳中学校でメディアセンタにて、英語のスピーキングテストが行われました。生徒達はタブレットとイヤホンマイクを使って、集中して楽しくテストを受けていました。

樹徳中高一貫教育 第2回樹徳中模擬試験 10/13(土)

受付 8:00 ~ 8:45
[I型]
国語 9:15 ~ 10:00
算数 10:15 ~ 11:00
[II型]
適性検査型 9:15 ~ 10:00
作文 10:15 ~ 11:00
※[I型][II型]選択
受験料 無料

第1期入学試験
11/10(土)
出願期間
10/29(月) ~ 11/2(金)

お問い合わせ
TEL 0277-45-2257

幼稚園だよ！

「満足感・自信を 二学期の成長へ！」

日の傾くのも早くなり、朝晩の涼しさや、気持ちのいい秋空が広がる「スポーツ」の秋、十月を迎えました。

園では十月六日（土）の運動会に向けて、かけっこや遊戯、リレー等の練習に一生懸命取り組んでいきます。練習を終えて給食の時間になると「食欲の秋」も全開！です。年少々（すみれ組）の子どもたちは「おかわりしたよ！」と食べ残



「ヨーイ。ドン」かけっこの練習

しのないお皿を持って、園長室まで見せに来てくれました。満足そうな顔が可愛くて、大きな声で褒めてやります。

「運動会頑張ります！」

今年も天候にも恵まれて、各学年の練習も順調に進み、本番を楽しみにしている子どもたちです。

年長さんは、綱引き・リレー・障害物競走・組み立て体操にリズム遊戯と大忙しです。組み立て体操では、歯を食いしばって頑張りは、上手くできたときの表情は自信にあふれています。年長さんとして大変な分、練習を通して成長している様子がよく分かります。

年中さんは、かけっこや遊戯を楽しみながらも競争心が強く、「負けないよ！」と頑張っています。遊戯では、小道具を自分たちで作ったり、難しくなった隊形移動も、お友だちと協力し合って取り組み、一年間の成長した姿を見せてくれると思います。
年少さんは、かけっこが大好きで、疲れてしまうの

ではと心配するほど頑張っています。遊戯では、振り付けや隊形移動など頑張っている姿、正義のヒーローになりきって、楽しんでいきます。以前の自分よりどれだけ成長できたか、当日の発表が楽しみです。

年少々さんは、かけっこに遊戯。かけっこでは大きな声で返事ができるうちに、蛇さんみたいにあちこちへ曲がらず、まっすぐ走れるように練習中です。当日はどうか練習しますか？遊戯が大好きで毎日「おしりフリフリ」踊りたい。曲かけて！と、先生にねだっています。楽しそうにおどる姿は、とっても可愛いんです。泣かないで参加できたら花まる。立っているだけで絵になるすみれさんです。



「オジギソウの観察」
可愛いね、楽しい！

るようにと、先生方も子どもたちと一緒に頑張って、力いっぱい頑張っています。子どもたちは、力一杯思いつき楽しんで、満足し、成長への手がかりとなり、次の成長への成長がかりとなり、確実な成長と、充実の二学期にしていきたいと思えます。保護者皆様はじめ、ご家族の皆様応援よろしくお願いします。



「秋の景色」ススキ穂が出たよ！

「子どもの心身の成長と アタタチメント（愛着）」

アタタチメント（愛着）とは、母親や保育士などの信頼できる特定の人と「つながる」「くっつく」ことで安心感を覚えること。乳幼児期に愛着が十分に得られないと「自己」（自尊心・自己肯定感・自立心・自立

性）と、社会性（共感性・思いやり・協調性・規範意識）に関わる心の力（非認知能力）が育ちにくくなります。乳幼児期の教育の重要性や、非認知能力の大切さが、各種研究から認識されるようになってきた今日。そして、乳幼児期の体験は「生涯発達的基础工事」にあたり、その後の高度の教育も、確かな土台がなければ十分な成果につながりません。乳幼児期の子どものは、日常の行動で様々な危険や不安を感じ、安全な場所に戻り（アタタチメント）、またそこから探索や遊びに出るようになるなど、「安心感の輪」にあるときに健やかに成長します。

園でもこうした当たり前の環境をしっかりと整えていきたいと思えます。

園長 瀬谷 茂

『入園願書受付』

三十一年度入園願書（二・三歳）を受け付けております。願書提出は早めに樹徳幼稚園まで

○園見学はいつでもできます。ご連絡ください。

※連絡先

〇二七七一五二一五五七一

<http://www.jutoku.ed.jp/kinder>

10月(正念)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	月	更衣 中間試験(～3日) 学年主任会	更衣 早朝自主学習(～3日) 中間試験(～3日) 頭髪服装指導	更衣 リズム(全)線(年少)
2	火			
3	水	市街地清掃(通算92回) マイトリー基金拠金日 県校長会 後援会役員会②会計監査	薬物乱用防止教室	英語(全)文字・数(年長)
4	木	プレテスト打合せ 関東地区私学教育研究集会(～5日)		運動会予行練習
5	金	授業料・第2回諸費納入日 3年自動車運転免許取得教習開始 中学生入試体験プレテスト会場作成 大掃除		運動会前日準備 保育料納入日 キャリアアップ研修①
6	土	中学生入試体験プレテストA日程		運動会(雨天順延)
7	日	中学生入試体験プレテストB日程		運動会予備日
8	月	体育の日		
9	火			運動会代休 預かり保育 桐生市入園面接(本園)
10	水			英語(全)文字・数(年長)
11	木			体育(全)文字・数(年中)
12	金	県私学保護者連合会理事会(桐一)		
13	土	後援会研修旅行	樹徳中学校モゴ試験②	2・3号子ども開園日
14	日			
15	月	朝礼 教科主任会	ミニマナーアップ運動	キャリアアップ研修② リズム(全)線(年少)
16	火	中学校保護者学校見学会(～18日)		読み聞かせ(西山先生)
17	水			お茶のお稽古④ 英語(全)文字・数(年長)
18	木			体育(全)文字・数(年中)
19	金	合唱コンクール(1年・2年総合音楽履修クラス)	合唱コンクール(4年) 漢検②	
20	土	県高校総合文化祭開会式 数検① 3年河合塾全統記述模試③ 3年河合塾マーク(～21日) 1・2年ベネッセ診断(課外受講者)	進研学力推移②(1・2年) 語学研修最終説明会(3年) 数検②	2・3号子ども開園日
21	日			
22	月	LHR 食育の日	進研学力推移②(3年)	キャリアアップ研修③ リズム(全)線(年少)
23	火	3年河合塾全統マーク模試③(～27日)		ボール投げ教室
24	水		合唱コンクール	英語(全)文字・数(年長)
25	木	全国私学教育研修集会(～26日)鹿児島		体育(全)文字・数(年中)
26	金			親子遠足(大洗アクアワールド)
27	土	1・2年ベネッセ総合学力テスト 漢検②ー2		2・3号子ども開園日
28	日	群馬県民の日		
29	月	朝礼	第一期入試願書受付(～11/2)	リズム(全)線(年少)
30	火	制服アフターサービス		卒園・修了写真撮影 読み聞かせ(西山先生)
31	水	出欠統計提出		指定園研究発表 英語(全)文字・数(年長)

※ 1日は高等学校・一貫校・幼稚園の校内安全点検日です



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく